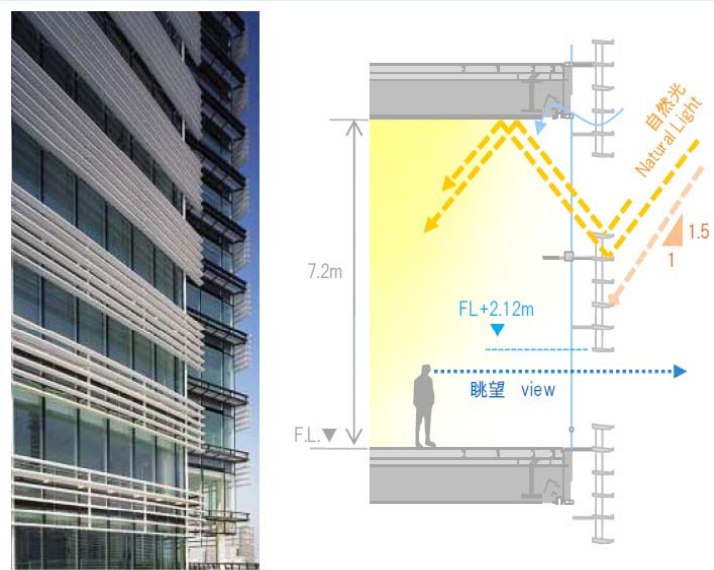


定量的評価が困難な技術や新技術の特別な評価の例について

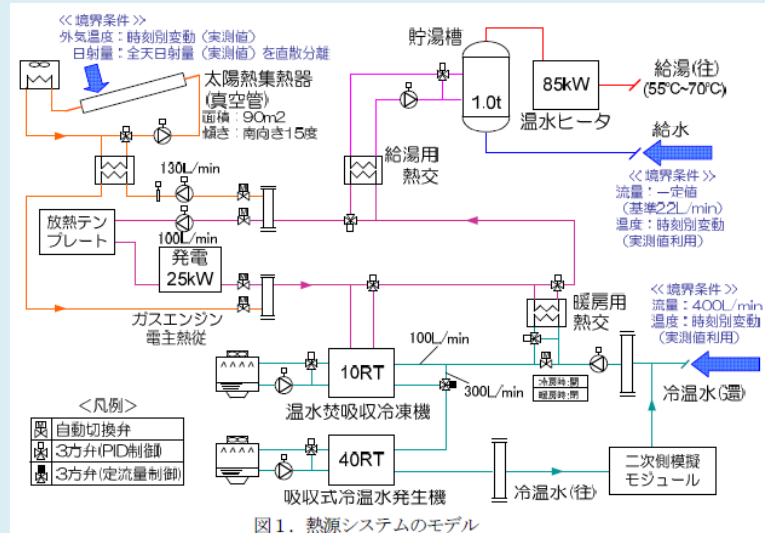
- 外部ルーバーによる照明発熱の低減に伴う空調負荷の低減などの定量的評価の標準的な方法が確立していない技術や、複合冷暖房給湯システムなどの新技術も、積極的に評価していくことが重要。
- このため特別な調査や研究の結果に基づき、同等以上の性能であると確かめられる計算を行う場合を認める。

例1 【水平外部ルーバー】



ライトシェルフによる照明負荷の削減に加え、それに伴う空調負荷の低減を適切に評価するには、特別な計算方法が必要である。

例2 【複合冷暖房給湯システム】



太陽熱集熱設備と、コージェネレーション設備からなる複合システムを時間単位で適切に評価するには、特別な計算方法が必要である。

- 照明負荷と連動した空調負荷の計算や、時間単位でのエネルギー負荷計算などが可能な高度な評価プログラム(例えばBuilding Energy Simulation Tool(BEST)など)が存在。
- 計算過程が明らかとなっており、所管行政庁が同等以上の性能であると確かめられる場合には認めることを検討。